

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道373号 志戸坂峠道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県英田郡西粟倉村影石 至：鳥取県八頭郡智頭町市ノ瀬			延長	18 km	
事業概要	<p>一般国道373号は、兵庫県赤穂市から鳥取県鳥取市に至る延長約70kmの主要幹線道路である。 志戸坂峠道路は、岡山県・鳥取県境部の一般国道373号の隘路区間の解消、冬期交通の安全確保を目的とした延長17.9kmの道路である。</p>					
S52年度事業化	S52年度用地着手		S52年度工事着手			
全体事業費	約1,050億円		事業進捗率	74%	供用済延長	18 km
計画交通量	12,100~12,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 B/C (残事業) 1.1	総費用 (残事業)/事業全体 154 / 1,389億円 事業費：139 / 1,339億円 維持管理費：15 / 51億円	総便益 (残事業)/事業全体 164 / 1,469億円 走行時間短縮便益：159/1,217億円 走行経費減少便益：-1.8/168億円 交通事故減少便益：6.9/84億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	残事業についての感度分析を実施					
交通量変動	B/C= 1.2 (交通量+10%)		B/C= 1.0 (交通量-10%)			
事業費変動	B/C= 1.0 (事業費+10%)		B/C= 1.2 (事業費-10%)			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土・地域ネットワークの構築（鳥取県東部と山陽・京阪神の拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する）</li> <li>災害への備え（一般国道373号の通行規制区間の回避）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他15項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	志戸坂峠道路は現道の隘路区間の解消、冬期交通の安全確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、鳥取市をはじめとする関係2市9町2村の首長等で構成される国道373号改修促進既成同盟会より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	一般国道373号では、災害・事故による通行止めが発生している。また、本路線と一体的整備が行われている中国横断道姫路鳥取線の整備を見越して、沿線地域では工業団地の開発・分譲が進んでいる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年度末で用地買収は97%が完了しており、現在までに西粟倉IC～智頭ICまでの18kmが2車線で供用済み。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、残るIC接続部について早期供用を目指し、事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	PC橋上部のPC鋼材配置変更等によるコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>岡山県 英田郡 西粟倉村 影石 鳥取県 八頭郡 智頭町 市ノ瀬</p> <p>兵庫県 赤穂市</p> <p>鳥取市</p> <p>智頭南IC</p> <p>西粟倉IC</p> <p>智頭IC</p> <p>一般国道373号 志戸坂峠道路（権限代行区間） L=18km 供用中</p> <p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高規格幹線道路</li> <li>高規格幹線道路（未整備区間）</li> <li>姫路鳥取線（新直轄区間）（未整備区間）</li> <li>志戸坂峠道路</li> <li>直轄国道</li> <li>補助国道</li> </ul>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。